

食品の放射能汚染に関する考え方と自主検査方針について(常総生協)

【状況の厳しい認識】

- (1) 2011年東電福島第一原子力発電所の事故によって、国内は広範囲に放射能に汚染されました。1960年代の核実験による汚染ピーク(日本の土壌やコメの汚染)の数倍の汚染ピークを歴史的に記録している。
- (2) しかも、原発からの距離では必ずしもなく、風と地形によって「まだら」に汚染され、局所的(スポット的)に高濃度のところもあることがわかってきました。
- (3) さらに、今回の牛肉の汚染のように、エサの汚染による食物連鎖による汚染の拡散が広がりがつつあります。菌茸類のおがくず汚染や原木汚染も同様です。
- (4) 河川・湖沼・海洋汚染はいまだ様子がわからない状態です。
- (5) 放射線の健康影響は、「外部被曝が2割、内部被曝が8割」とされています(小児科医:黒部先生)。これだけ「広範囲の低線量・長期被曝」は世界で初めてで、広島・長崎、チェルノブイリに続いて広範囲な健康影響の実験として注目されています。
- (6) しかし、国の環境の安全対策、食の安全対策は後手になっており、検査体制や対策、情報開示は遅れています。

【この状況下での対処の方法】

- (1) 全体として生活環境と食の広範囲の「汚染」は覚悟しておかなければなりません。
時間的にも中長期にわたって、放射能とつきあってゆく(言葉が悪いですが、対処してゆく)ことを覚悟しておく必要があります。
- (2) 容易に移動や選択がままならない現在の生活環境・食生活の中で、冷静に慎重に、放射能から身を守る、家族を守る行動を、家庭で地域で、また生産者と協同してすすめましょう。
- 過度の楽観も悲観も避けるようにしましょう。慎重に放射能を避けながら、身体の基礎的な力をつけておくことに心がけましょう。
- (3) 現在の汚染の状況やレベルを冷静に判定、比較検討して行動(判断)できるデータが必要です。

- (4) そのためには、調査・検査の実施と公開されることが前提ですが、現在の国の状況ではまもらない以上、

- ①自分たちの手でデータを集め、
②それを冷静に評価し
③食の判断、生活環境の判断材料とする

現時点では、初めてのことで、わからないことが多く、あらゆる予断を許さないことから、
可能な力を尽くして「力づくで調べてゆく」
という方針で臨みます。

- (5) 汚染が広範囲に及ぶことや、まだら汚染の状況から考えると、あらかじめの予断はせずに、検査の範囲を段階的に拡張するとともに、丁寧に安全レベルを「絞り込む」作業をすすめます。

- (6) 「1kg当たり何ベクレル」という検査結果を単純に比較せずに、今後これに加えて、1日当たり(または週・月当たりの)「摂取量」を参照してゆくこととします。逆に、事故後初年度のコメ、麦などの穀類は日本人の主食であり、食べる量が違うので、基準値も変わってきます。

- (7) 時間経過とともに、食物連鎖による汚染の連鎖、拡散に特に注意します。今後、海産物、加工食品、冷凍食品に検査を拡張します。

- (8) 口に入る前の最終段階での検査・チェックと共に、食の生産現場にまで立ち入った(土壌、海洋湖沼、エサ)注意と対策に入ります。
その点で生産者と消費者が協同と信頼で食の安全に努力してきた生協は、畑(海)から食卓までの対策を生産者と消費者が共に協力して取り組めることができます。

- (9) 「土壌」によるセシウム固着～作物への移行を1割程度に低減化する特性や、茶葉を抽出してもセシウムが離れない特性等も考察します。
逆に菌茸類のように菌糸を縦横に伸ばして(すごい表面積になる)育つことから移行率が大きいという特性等に注意します。
さらに今後の海産物については、回遊魚かどうか、どの海域か、深海か浅海か等も判断します。

総代会前の組合員討議を受けて、総代会決議・理事会決定で購入した「放射能食品分析システム」(500万円)で、放射能の自主検査体制が整いました。

先週一週間の「放射能自主検査結果」(最終版)を中面に掲載します。

先週は毎日検査を追加しながら取り急ぎの「速報」の形をとったために、月～金の間で追加されて変わっています。このニュースで先週検査分の「最終版」を掲載しておきます。今後は新規検査分を追加で順次報告してゆきます。

【お願い】

① 検査結果を参考に、ぜひ生協への利用を集めて下さい。

生産者がわかる、生産者との信頼関係を持つ生協だからこそ。エサや土壌までの生産現場の検査態勢、食品原料の検査までより広範囲の検査を実施して、食の安全確保に職員も不眠不休で頑張っています。ぜひ生協への利用を集めて下さい。

② 「増資」へのご協力を！

検査機器をはじめ、放射能問題で多くの出費を強いられています。積立増資へのご協力をよろしくお願いします。

【8月3回は8/15から通常供給です】

●注文書の提出は、8月1週(8/1～8/5)に一週早い回収となっていますのでご注意ください。

●この注文書の商品のお届けは、8月3週(8/15～8/19)となります。

●2011年8月供給日程

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
休	8月2回供給 月火コース 水木コース 金コース (注文書提出なし)			お休みを頂きます		
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
	8月4回供給 (注文書は9月1回を提出)					